

農業委員会視察研修

11月10日(水)にさいたま市にある(有)若谷農園と富士見市の視察研修を行いました。

今回の視察先は、町内農業の課題でもある『担い手の育成支援』と『農業生産基盤の整備』を先進的に実施している場所を選定しました。

(有)若谷農園

若谷農園は、主に小松菜・くわいを栽培しており、特にエコファーマー取得農場として、農薬の低減や自家製たい肥による土づくりを行い、消費者に安心・安全で喜んでいただける新鮮野菜づくりに取り組んでいます。今回の視察の目的である『担い手の育成支援』について農園の代表である若谷さんは「さいたま市農業委員であり、担い手となる人材育成にも力を入れていきます。町の担い手育成に非常に参考になりました。」



富士見市 第一土地改良区・南畑土地改良区

両土地改良区とも「県営ほ場整備事業」として採択され大型機械による近代的な低コスト大区画ほ場整備事業を行った結果、農業生産基盤の整備が実施されております。このような事業を参考に町の生産基盤が向上されるよう、要望してまいります。



農業委員会建議

農業委員会では、町内の農業の発展と農のあるまちづくりの更なる推進を図るため、10月12日に町に対して建議(要望)を行いました。

建議の主な内容は以下のとおりです。



建議内容(抜粋)

- 担い手(認定農業者・新規就農者)支援
1 新規就農者に対する総合的な支援体制の確立・実施
2 担い手農家への農地の集約
- 土地改良・基盤整備について
1 用排水路・農道等の未整備地区における整備の早期実施
2 用水路の老朽化に対する早期修繕対策の実施
3 農地・用水路等への粗大ゴミ等の不法投棄に対するパトロールの強化
4 各用水路の水質検査の実施
- 農産物生産支援について
1 農産物直売所の移転
2 転作に対する経済的支援の拡充
- 国・県への要望
1 米価の安定の国への要望
2 戸別所得補償制度の拡充と継続についての国への要望
- 農地改良対策(一時転用)
1 不法投棄に対する条例による規制の実施
2 耕作放棄地対策の強化